

日時 平成23年7月5日（火）  
午後3時から  
場所 ホテル日航成田

## 成田国際空港を拠点とした魅力ある都市づくりについて



—小坂町長の説明—

「空港を生かした地域活性化」をテーマに、成田空港周辺の4市町の首長と千葉県経営者協会（綿貫弘一会長）の地元メンバーらの意見交換会が5日、成田市内のホテルで開かれました。

成田市の小泉一成市長は6月に総合特区法が成立したことを受け、邦人到着旅客に対する空港外を含む免税品の販売許可や、地元ホテルなどが外国人宿泊者向けに市内観光ツアーを企画提供できる旅行業者代理業の特例認定といった、成田市としての特区申請に向けた検討プランを示しました。

また、小坂酒々井町長は、平成25年春、(仮称)酒々井ICの開設にあわせ、アウトレットモールを運営するチェルシージャパン(株)の進出が決定している南部地区新産業団地と旅客を結びつける構想について説明しました。

さらに、相川芝山町長は、空港南側に来春完成予定の農産物直売所・観光施設の概要を、菅澤多古町長は空港東側ゲートの新設の必要性を訴えました。

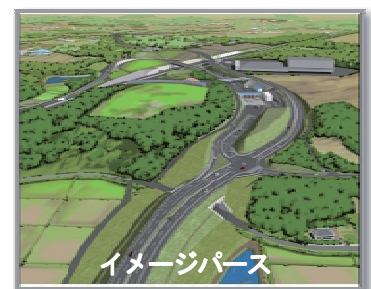
【千葉日報（H23.7.6）他記事掲載】

### — 小坂町長 説明要旨（10分） —

#### 1. 成田国際空港とともに

[酒々井町の紹介]

- ・町域1.9km<sup>2</sup>、鉄道3線4駅、徒歩15分から20分でいずれかの駅へ行ける。
- ・上下水道の普及率は約93%となっている。
- ・質の高いコンパクトシティづくりを進めている。
- ・平成17年の国勢調査から通勤通学が今までの東京方面から成田方面への流れとなり、成田国際空港とは人・物・経済で結びつきを強めている。

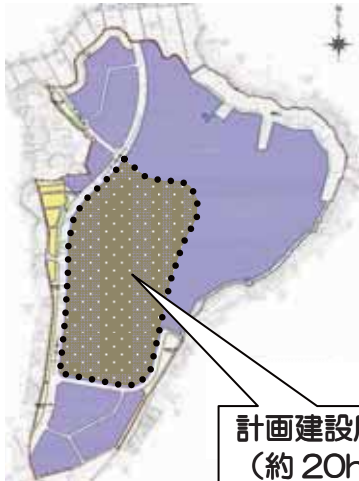


## 2. (仮称) 酒々井 IC と新産業団地

- ・平成25年春開設の酒々井 IC。これにあわせて新産業団地内に三菱地所が60%を出資するアウトレットモールを運営するチェルシージャパン(株)の進出が決定している。
- ・この IC の完成により墨工業団地の企業進出が進むものと考えている。
- ・また、2年あまり前にパークゴルフ場が開業したが、これも IC 効果である。



施設イメージ



計画建設用地  
(約20ha)

### 酒々井南部地区新産業団地

酒々井南部地区新産業団地(酒々井南部土地区画整理事業)は、都市再生機構が施行者となり事業を進めています。

現在、計画建設用地内にチェルシージャパン(株)との間で賃貸借契約(約20ha)を締結し、平成24年4月一部引き渡し、平成25年春の施設開業を目指して進められています。

なお、チェルシージャパン(株)は、全国に8か所のプレミアム・アウトレットの開発・運営を行っている会社ですが、施設内容や規模等については、現在、計画中です。

## 3. まちづくりの課題(魅力ある町づくり)

- ・成田市公津の杜の近くは、成田都市計画と連携した町づくりが必要である。住宅を中心とした町づくりが期待される。
- ・酒々井 PA (パーキングエリア) のオープン化による地域活性化。一部ネクスコ東日本とも話し合いを始めている。

### [歴史文化の発信と観光]

- ・酒々井町は、徳川家康の町立てから420年、中世の町であり、明治の町村合併から122年の歴史がある。
- ・また、酒の町でもあり、町民有志による新酒祭は11月の風物詩となりつつある。
- ・中世戦国時代の本佐倉城跡(国指定史跡)や古代の村の景観(雰囲気)を残す里、これらを佐倉と成田、空港との連携により成田国際空港のトランジット客を誘致し、歴史文化を発信し、観光を町立ての方策に位置づけていきたい。



本佐倉城山郭

《質疑》 戸崎早稻田大学教授(コーディネーター)

戸崎教授 アウトレットができ、宿泊はどうするのか?

小坂町長 新産業団地は、ホテルも立地可能である。当面は成田のホテルに頼らざるを得ない。誘致も考えたい。町としては小布施町のプチホテルや農家・民宿(泊)が考えられる。小布施町は、榊一酒造という蔵元が先導して町の再生活活性化を図っている。地域の手による活性化を参考としたい。